

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--




文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	おーえすけにつぼんかげきだん 株式会社OSK日本歌劇団		団体ウェブサイトURL https://www.osk-revue.com/
	代表取締役社長 豊田 崇克		
制作団体所在地	〒 541-0057	最寄り駅(バス停)	大阪メロ 本町駅
	大阪市中央区北久宝寺町4-3-11		
電話番号	06-6251-3092		
ふりがな 公演団体名	おーえすけにつぼんかげきだん 株式会社OSK日本歌劇団		団体ウェブサイトURL https://www.osk-revue.com/
	代表取締役社長 豊田 崇克		
公演団体所在地	〒 541-0057	最寄り駅(バス停)	大阪メロ 本町駅
	大阪市中央区北久宝寺町4-3-11		
制作団体 設立年月	創業 1922年(大正11年) 設立 2009年(平成21年)1月7日		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	取締役管理部長:渡邊博和 取締役業務推進室:脇本寿郎 取締役制作部長:辻信次 取締役営業部長:中嶋健治	劇団員:翼和希・千咲えみ ほか45名 研修所(2年間)の卒業試験に合格した者のみ 入団することができる	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	脇本 寿郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	渡邊 博和

本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	wakimoto@osk-revue.com
-------------------------	--

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>1922年 松竹楽学部生徒養成所を天下茶屋に創立。松竹座にて第一回公演を上演</p> <p>1926年 松竹座開場3周年記念として「春のおどり」が誕生、令和の現在も続く伝統公演として上演</p> <p>1930年 日本で初めて、男性風に短く髪の毛を刈り上げるスタイルの「男役」を確立させる</p> <p>1945年 大阪大空襲後に奇跡的に焼け残った大阪松竹座にて公演を継続</p> <p>1949年 日本ではじめての本物の水を使ったレビューを上演</p> <p>1951年 松竹の歌劇団であることを活かした、歌舞伎をベースにしたレビューを上演</p> <p>1963年 日本劇場にてOSK、宝塚歌劇団、日劇ダンシングチームなどの合同公演に参加</p> <p>1971年 朝日放送の資本参加、近鉄グループ傘下に参入し、拠点を奈良県へ移行</p> <p>1973年 創立50周年記念祭典実施。退団後も活躍したOGの「笠置シズ子」や「京マチ子」ら出演</p> <p>2004年 66年ぶりに松竹座「春のおどり」公演の再開</p> <p>2014年 日本・キューバ交流400周年記念行事として、初のキューバ公演を実施。</p> <p>2022年 劇団創立100周年記念公演を大阪松竹座・東京新橋演舞場・京都南座にて上演</p> <p>2023年 連続テレビ小説「ブギウギ」に当団出身の「笠置シズ子」をモデルに放送開始、現役劇団員 翼和希が出演</p>			
学校等における 公演実績	<p>2012年に中学校保健体育の一環として「ダンス」が必修化されたことを機に、小学校での「表現運動」と合わせ、この年から当団自ら学校への訪問授業を開始した。当団所属のプロの劇団員が踊る楽しさを子どもたちへ直接伝えることで、より一層の体と心の醸成を育むことに寄与すべく、これまでに関西圏を中心に当団を象徴する「ラインダンス」の訪問授業を小、中、高の各校で実施してきた。これまでの13年間で年々各地からの要望も増え、劇団員出身地である宮城県仙台市、栃木県真岡市、福井県越前市、神奈川県横浜市など全国各地にも個別訪問し、全国の公立中学校および私立の中学校・高等学校302校へ訪問し劇団員による『訪問ダンス授業(ラインダンス)』を提供させていただき、65,848名の子どもたちにご受講いただきました。今年度も22校で3,700名が受講予定としている。</p> <p>当団としてこれまでに本事業としての学校巡回公演の実施経験は有しないものの、これまでの実績と高い評価を元に、この機に本事業を通じて本物の舞台を広く子どもたちに紹介し、実体験してもらうことで、さらなる文化芸術の浸透や理解、子どもたちの豊かな心の育成に貢献したいと考えている。</p>			
特別支援学校等における 公演実績	<p>公演等の実施実績は無いが、これまでの学校訪問授業の経験を活かして、本事業を通じて等しく参加・体験しやすいプログラムを実施する所存である。</p>			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/Ye9tfuTwKKQ		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:		

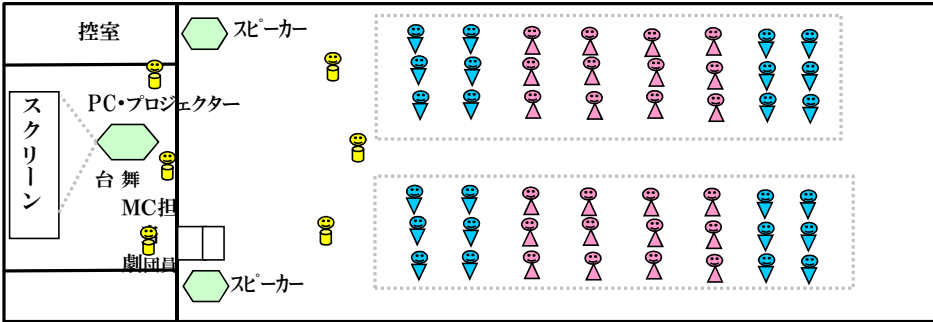
別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	OSK日本歌劇団特別レビューショー&表現力を身につける体験教室			
企画のねらい	子どもの成長はすべての大人の願いであるが、子ども期における様々な体験がその後の成長において大きな影響をもたらすことは文部科学省でも発表されている通りである。様々な体験の中で特に「芸術体験」は日々の生活圏では得られないものであるが、実体験こそが一番その効果や反響も大きい。さらに数多ある実演芸術において「少女歌劇」はわが国発祥且つ固有の無形文化であり、その上演ができる団体も非常に限られている。そのため、こうした学校訪問を通じて特異で多様な文化・芸術に触れることで、多感な子どもたちに歌唱やダンスを通じた感動体験を育むとともに、自ら参加して表現の場を共創することで、子どもたちの前向きな心や豊かで寛容な想像力をより一層伸ばさせていくプログラムにしたいと考えている。			
演目概要・演目選択理由	日本固有の文化として独自に発展し、女性の劇団員のみで上演される「少女歌劇」は、本物の舞台を身近で体験してもらうことでその優れた歌唱や軽快なダンスによって表現される美しさや優雅さを子どもたちに正しく理解してもらえ。鑑賞する子どもたちの年代に合わせた馴染み深く、共感を得やすい選曲と、女性だけで男女の役を演じ分けられる「少女歌劇」の醍醐味をわかりやすく届ける演目を構成した。また、少人数でも曲やダンスをアレンジして上演できる特徴を活かして、学校でもミュージカルの本質である歌唱の魅力や、多彩な表現芸術の素晴らしさを体感・共感してもらえるよう演出する。子どもたちもほぼ初めての鑑賞経験となるため、子どもたちの関心や興味を高め、豊かな表現世界を通じて心や感受性を醸成することに主眼を置いた構成としている。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	ワークショップでは、レビューの代表的な踊りの「ラインダンス」のエッセンスを加えて構成したオリジナルダンスの体験レッスンを行う。曲に乗せて体と呼吸を合わせて表情豊かに踊るダンスを劇団員が直接指導の元、全員で体験するほか、当団が昭和5年から歌いつながる当団の代表歌「桜咲く国」と「花は咲く」の2曲を全員で歌唱と手振りの表現練習をする。また、公演時には選抜した生徒に舞台上で劇団員とともに舞台道具の桜色パラソルを使った演技指導を行ったうえで「桜咲く国」を共演するほか、「花は咲く」では、生徒たち全員と歌唱と手振りを加えた表現による共演を行って、自分たちで表現することの楽しさ、歌を上手に歌えることになることの喜び等を丁寧に届けていく。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10	
		鑑賞人数目安	300	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>当団が誇るレビューショーは、聞き馴染みがあるクラシックや歌謡曲、子どもたちにも親しみのあるディズニーやポップな曲に合わせて、ヒップホップやジャズダンス、ラテンなどの多種多様なダンスと歌唱とを融合させた独自の舞台を披露します。3部構成のレビューであり、ストーリー性のあるダンスや表現豊かに心を込めて歌う曲など、バラエティに富んだ構成で子どもたちが飽きることなく楽しみながら、そして自分たちも一緒に参加することで一体感と感動の共有ができる舞台構成としています。少女歌劇の魅力を感じていただける唯一無二の舞台です。</p> <p>作・演出 中野栄里子、斉田美和 音楽監督 浅野五朗 歌唱指導 大咲せり花</p> <p style="text-align: right;">公演時間 70 分</p>			
出演者	OSK日本歌劇団の劇団員 主演 せいら純翔、純果ころこ、依吹圭夏、有絢まこ、舞音ことは			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>OSK日本歌劇団の劇団員 主演 せいら純翔:男役スター 2016年4月 OSK日本歌劇団研修所入所 2018年5月松竹座春のおどりで初舞台、その後、多くの舞台に出演 2023年BP劇場SPECIAL LIVEで初主演 純果ころこ:娘役スター 2016年4月 OSK日本歌劇団研修所入所 2018年5月松竹座春のおどりで初舞台、その後、多くの舞台に出演 依吹圭夏:中堅男役 2016年4月 OSK日本歌劇団研修所入所 2018年5月松竹座春のおどりで初舞台、その後、多くの舞台に出演 2024年BP劇場Revue Cruiseで初主演</p>			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	<p>出演者: 5 名</p> <p>スタッフ: 8 名</p> <p>合計: 13 名</p>	運搬	<p>積載量: 2 t</p> <p>車長: 4,84 m</p> <p>台数: 1 台</p>	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:30～13:00		WS:10:30～12:15 公演:13:30～15:15	10分 10分	15:30～17:00	17時00分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月		8月	9月		
	20日	20日		20日	20日		
	10月	11月		12月	1月		
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計	80日		
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>	  						
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名			
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団 】

ワークショップのねらい	女性劇団員が男女の役を演じ分け表現する「少女歌劇」の個性や特徴を丁寧に劇団員が紹介することで当分野の認知浸透を図るとともに、「ラインダンス」を交えたダンス体験では、いかに身体と呼吸を皆と合わせながら、表情豊かに表現していくかに挑戦します。また、歌唱&手振り体験では、劇団員の丁寧な歌唱と合唱の指導により、心を込めて歌うことの魅力や、歌に合わせて手振りの表現を学んで、より一層感情を込めて相手に届けることの意義を子どもたちに実感してもらおうことがねらい。心通わせ、タイミングを合わせ、全員がともに一つの目標(本番)に向かって表現を完成させることの楽しみやワクワクを共有してもらうことで、明日への前向きなモチベーションや、友達や仲間と一緒に何かを成し遂げる達成感を育てていくきっかけとしたいと考えている。		
児童・生徒の参加可能人数		参加人数目安	300
ワークショップ実施形態及び内容	<p>標準:45分～50分×2時限</p> <p><OSK日本歌劇団 表現力を身につける体験教室></p> <p>●ダンスによる表現体験 OSKの代表的なダンスナンバーであるラインダンスのエッセンスを加えたオリジナルダンス(約40秒)の振付を生徒全員で踊れるように指導します。 ダンスのメニューは、小学校低学年、中学年、高学年、中学校生徒向けの4種類を準備しています。</p> <p>●歌唱による表現体験 OSKの代表歌である「桜咲く国」と学校では馴染みのある「花は咲く」の2曲を、劇団員指導の下で合唱練習します。併せて、曲に合わせて簡単な手振りの振り写しと練習を行います。</p> <p>指導プログラムは、以下の通りです。 ○入場・挨拶(自己紹介と「少女歌劇」とOSKの紹介) ○授業実施 ・ストレッチとエクササイズ ・課題ダンス(ラインダンス含む) ・受講認定証紹介 ○「桜咲く国」、「花は咲く」の歌唱、合唱 ・選抜生徒への演出レッスン、指導 ・生徒全員での歌唱、合唱練習 ○記念撮影(学校様のご判断にて省略させていただきます) ○退場 途中で複数回の給水時間を設けます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>■体験教室体育館レイアウトイメージ</p> <p>・ダンス、歌唱指導映像をプロジェクターにてスクリーンに投影、劇団員5名体制</p> 		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	
【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団】	
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 当団は日本が生んだ「少女歌劇」という固有の分野において、100年の長きに渡り中心的存在としてその文化を継承してきた。また大阪発祥による当団は、「地域文化の担い手」を支える実演団体として地域から絶大な信頼と評価を得てきた。実演芸術団体の所在地や活動拠点が東京に一極集中する中、関西発の文化発信の要として、また女性だけで構成・表現される特異且つ希少な創造団体として、自らの特異性を活かした地域コミュニティとの交流や、普及啓蒙活動を継続して今に至る。芸術団体が社会包摂としての意義や役割を求められる中で、これまでも当団として独自に教育現場への訪問活動を行ってきたが、創設100周年を機に新たに、教育現場において文化・創造・スポーツなど、複合的に子どもたちの体と心の醸成に寄与すべく、本事業に積極的に参画したいと考えている。 学校巡回によって、感受性豊かな子どもたちに早い時期から「少女歌劇」の世界観や文化を正しく伝えることで、当団が1世紀に渡って継承してきた本物の舞台が創る美しい表現世界、鍛え昇華されたダンスや歌唱の魅力を、学校で生徒と一緒に文化体験すること、本物の舞台を通じて子どもたち自らの表現力や創造力を喚起すること、それらにより子どもたちが豊かな心を持ちながらダンス体験等を通じ心身の健康や発育に貢献することを目的として、本事業に取り組みたい。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 当団ではこれまで本事業への参画実績は無いものの、2012年度から独自に大阪府高槻市、茨木市、豊中市等の公立中学校および私立の中学校・高等学校等に劇団員が訪問して、学校内でダンス体験授業を行ってきた。劇団員による当団の象徴的な「ラインダンス」をモチーフにした体験レッスンとして、子どもたちの体感を鍛え、音楽に合わせて表情豊かに、音感をもって一緒に踊る体験を指導してきた。学校や生徒からの反響は大きく、その後も劇団員の出身地等、全国各地で実施し、その経験を積み重ねてきた。実施から現在までの10年間で、合計231校へ訪問し、のべ55,831名の生徒たちに体験いただいている。また今年度も29校へ訪問予定で、5,500名の生徒さんに体験いただく予定である。 このワークショップ実績とこれまでの経験を活かし、子どもたちが表現することの楽しみを実感しながら体験できるダンス指導を行うほか、当団が昭和5年より歌い継がれる代表歌の「桜咲く国」と、東日本大震災を機につくられた「花は咲く」を全員で歌唱、合唱練習を行いながら、手振りによる曲に合わせた表現を学ぶ機会を創造する。ダンスと歌唱が「少女歌劇」の真骨頂であり、舞台芸術としての表現の基礎なので、劇団とともに表現する作品を創り上げることを目標に、指導を行う。また、普段なかなか実演芸術に触れる機会の少ない子どもたちに本物の芸術がつくる表現の魅力や力強さ、そして感動を共有することの大切さをその目、その肌で感じていただくことで、自らが体験し、感じたことをこれからの生活に前向きな方向へと向くように、あたたかく指導していくように十分に配慮している。</p> <p><少女歌劇とは> 歌舞伎は男性のみで演じられる古典芸能であるが、「少女歌劇」は女性のみで構成される劇団であり、女性が男役/娘役を演じ、また舞踊、歌唱、芝居を複合的に組み合わせた演出で多様な作品を上演する日本が生んだ固有の文化創造集団である。 その上演は「レビュー」という歌唱や様々なジャンルのダンスにより構成される舞台や、歴史上の人物や逸話、寓話など、洋の東西を問わず豊富なテーマから演じられるミュージカルなど、その表現世界は広く多様な魅力に溢れている。 少女歌劇は、わが国が育んだ舞台芸術の中でも世界に類を見ないオリジナリティあふれる存在であり、世界からも大きな注目を集める文化コンテンツとして、その価値は非常に高い。</p>

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫 【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>①離島・へき地等における公演実績</p> <p>無し</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>少人数による上演体制が可能であり、それら上演作品も多数有しているため、最小3名からの上演ができる。舞台のサイズや上演機材も学校にあるものや、少量の持ち込み機材等に対応できるため、上演環境に左右されず実施が可能である。また、舞台上演を構成する劇団員は皆、同等のワークショップ指導経験等を有しているため、人数や規模に関わらず体験できるワークショップのレベルは担保できる。</p> <p>【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】 上演する上で必要となる機材や衣裳等、必要最低限で上演の質を保てるように演出を工夫しているほか、宅配便等の活用による持ち込み機材等の運搬車両の最小化を図ることができる。</p> <p>【質を保つための工夫】 少人数上演スタイルでの公演は常設劇場で常に行っているため実績は豊富に有しており、学校上演の子ども向け演出や内容構成は完成度の高い作品を提供できる。また、劇団員は全員付属の研修所で2年間の様々な歌劇における教育を経て入団しているため、歌唱やダンスの指導においても経験値は高く、多くの舞台上演を重ねて磨いた表現力とその伝道にも定評がある。さらに、上演学校の環境に合わせて、照明やプロジェクター使用の有無も調整可能である。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫</p> <p>持ち込み機材、出演人数を最小単位で調整ができるため、一行人数や運行車両も最小化が可能である。また、ワークショップと本公演と機材を共通化させ、スムーズで効率的な運用でコストの低減を図っている。さらに学校の環境に臨機応変に適用できる上演プランにしているため、条件が違う各校において、同等の上演の質を保ちながら舞台上演ができる。</p>
----------------------------	--

ラインダンス体験教室 実績資料 (OSK日本歌劇団)

2024.9.18作成:脇本寿郎

【実績】

2012年:1,937名(8校)
 2013年:3,119名(16校)
 2014年:6,240名(25校)
 2015年:8,752名(32校)
 2016年:7,539名(28校)
 2017年:8,682名(28校)

2018年:8,163名(25校)
 2019年:7,325名(24校)
 2020年:2,566名(21校)
 2021年:2,736名(24校)
 2022年:4,692名(27校)
 2023年:4,328名(23校)
 合計 65,848名(302校)

10月9日 ダンスで夢と喜びを 彩都西小学校でOSK日本歌劇団 によるダンスの出前授業

更新日:2021年12月15日



9日、彩都西小学校で、5年生6クラス223人、6年生6クラス213人、合わせて436人が、OSK日本歌劇団によるダンスの出前授業を受けました。

